

藤井寺市都市計画マスタープラン 市民アンケート結果報告

藤井寺市都市計画審議会 2024 年 9 月 5 日

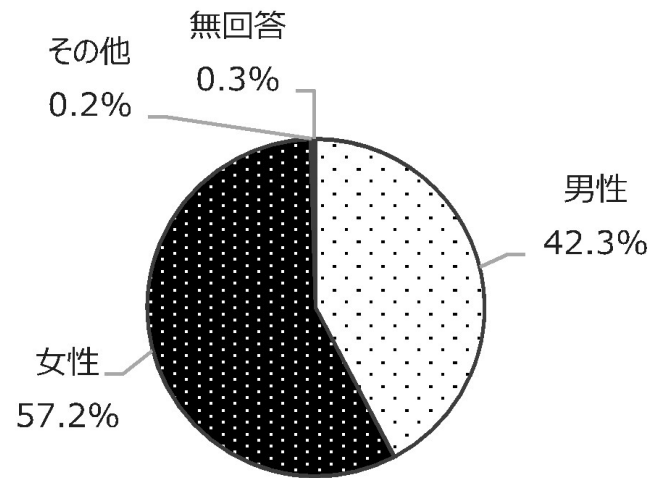
市民アンケート結果

○実施概要

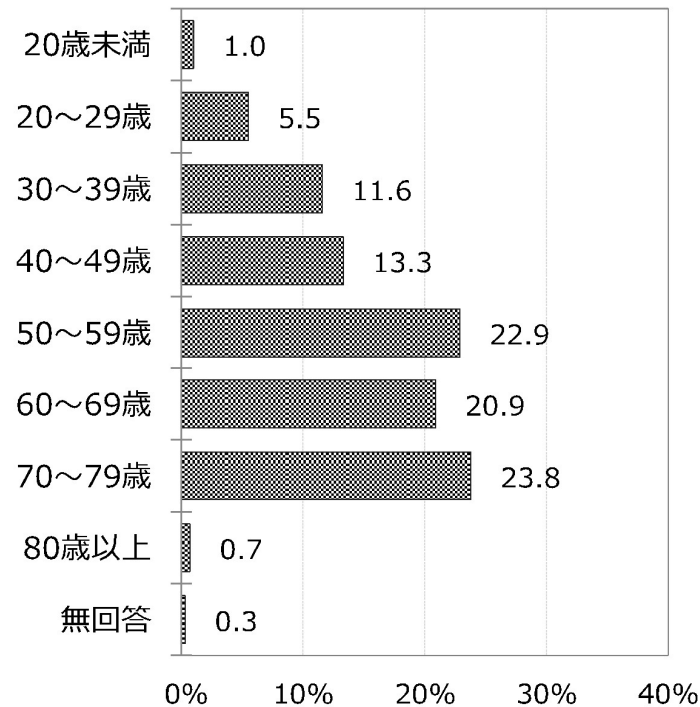
調査対象	18歳以上80歳未満の市民3,000人を無作為抽出 (年齢は令和5年10月末時点)
調査方法	郵送配付、郵送回収 督促なし 回答は、用紙回答あるいはオンライン回答を選択可能
調査時期	令和6年1月11日 ~ 1月22日 (1月26日到着分まで)
回収数など	回収数 : 1,183 (紙面 : 869、WEB : 314) 有効票 : 1,181 (紙面 : 868、WEB : 313) 有効票の回答率 : $1,181/3,000 = 39.4\%$

○回答者の属性

【性別】



【年齢】



【住んでいる小学校区】

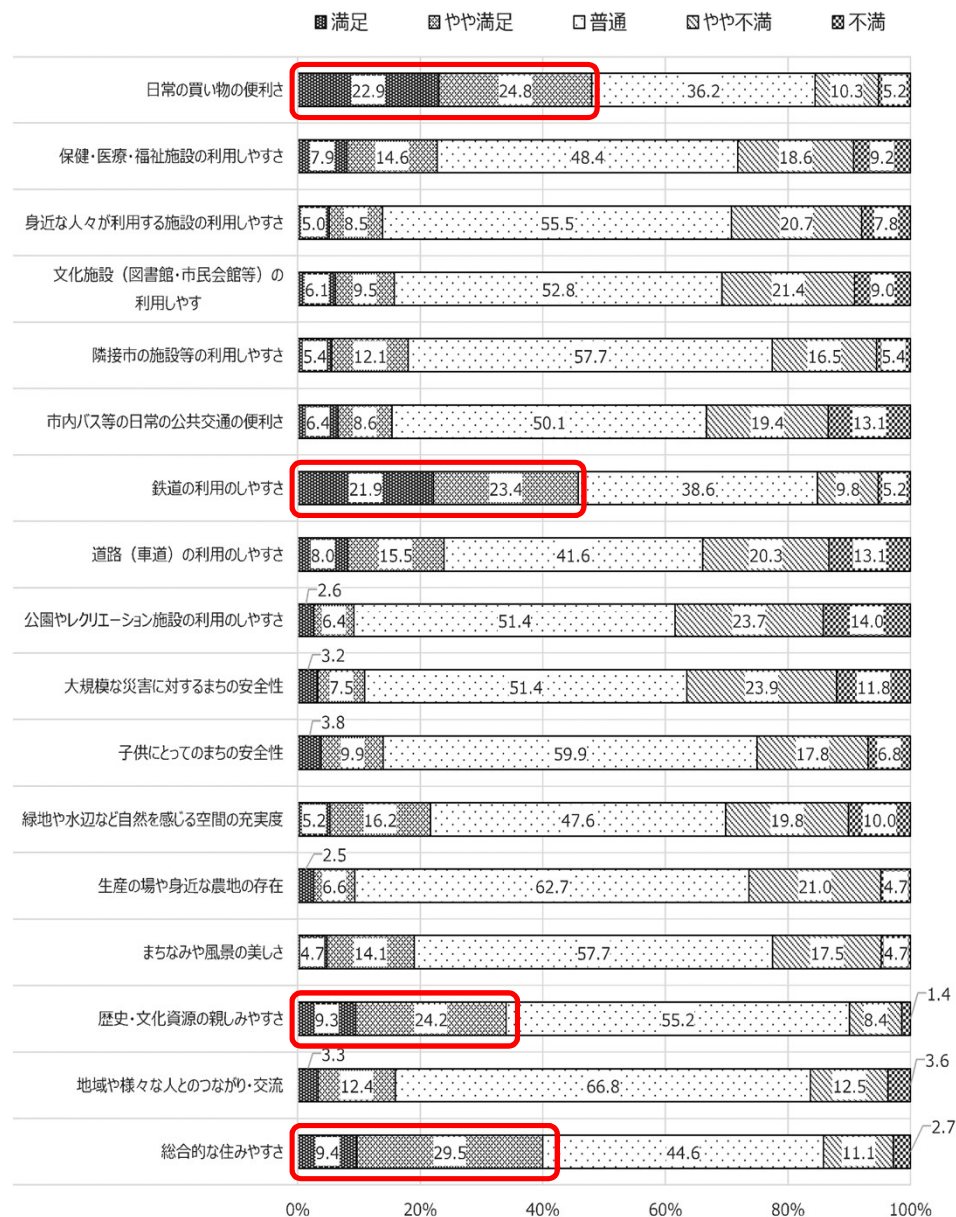
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	藤井寺	303	25.7
2	藤井寺北	121	10.2
3	藤井寺西	133	11.3
4	藤井寺南	174	14.7
5	道明寺	203	17.2
6	道明寺東	104	8.8
7	道明寺南	106	9.0
	無回答	37	3.1
	回答者数	1181	100

① 藤井寺市での暮らしの満足度

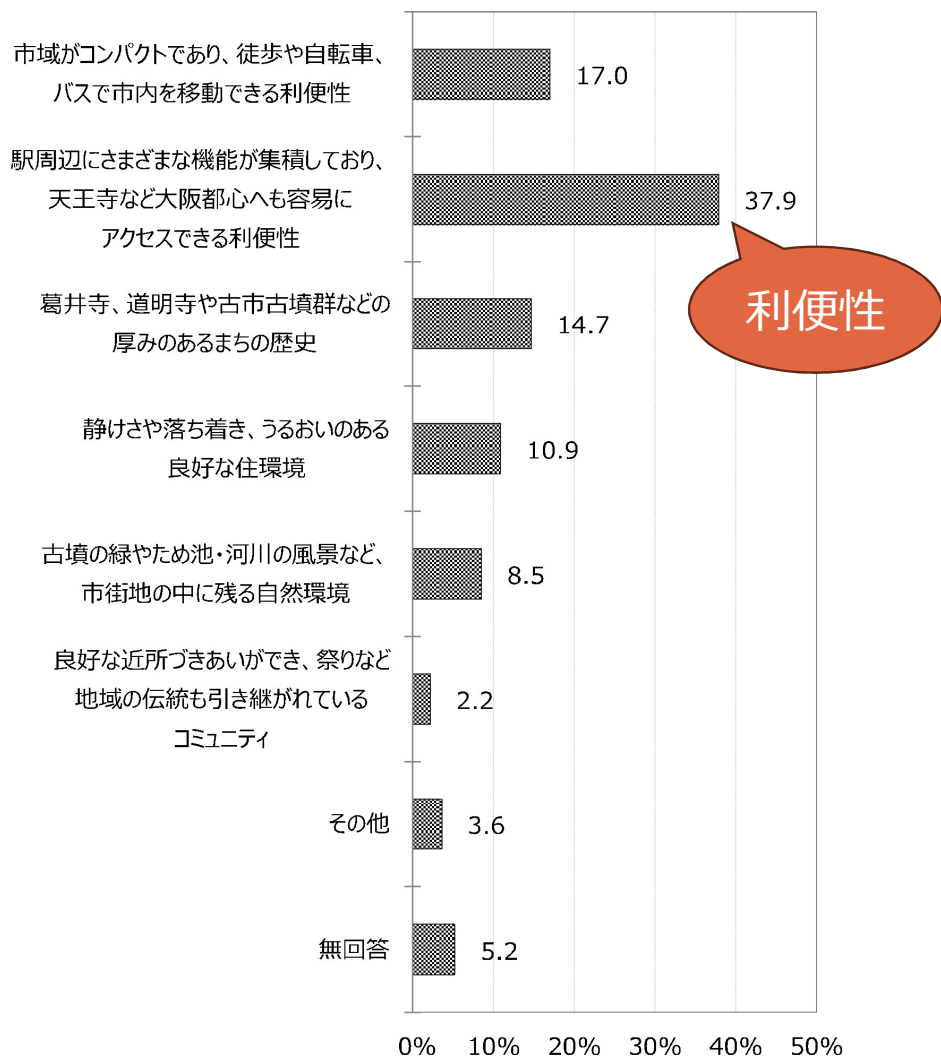
- ◆ 満足度が高いのは、「日常の買い物の便利さ」、「鉄道の利用のしやすさ」、「歴史・文化資源の親しみやすさ」。
- ◆ 結果として、「総合的な住みやすさ」も満足度が高い。

<前回調査との比較>

- ◆ 基本的な傾向は変わらないが、どの項目も全般的に満足度が向上、あるいは不満が減って普通が増加するなどしている。
- ◆ 中でも、日常の買い物、鉄道、歴史・文化資源は、満足度の向上が見られる。
- ◆ 結果、総合的な住みやすさが改善している。



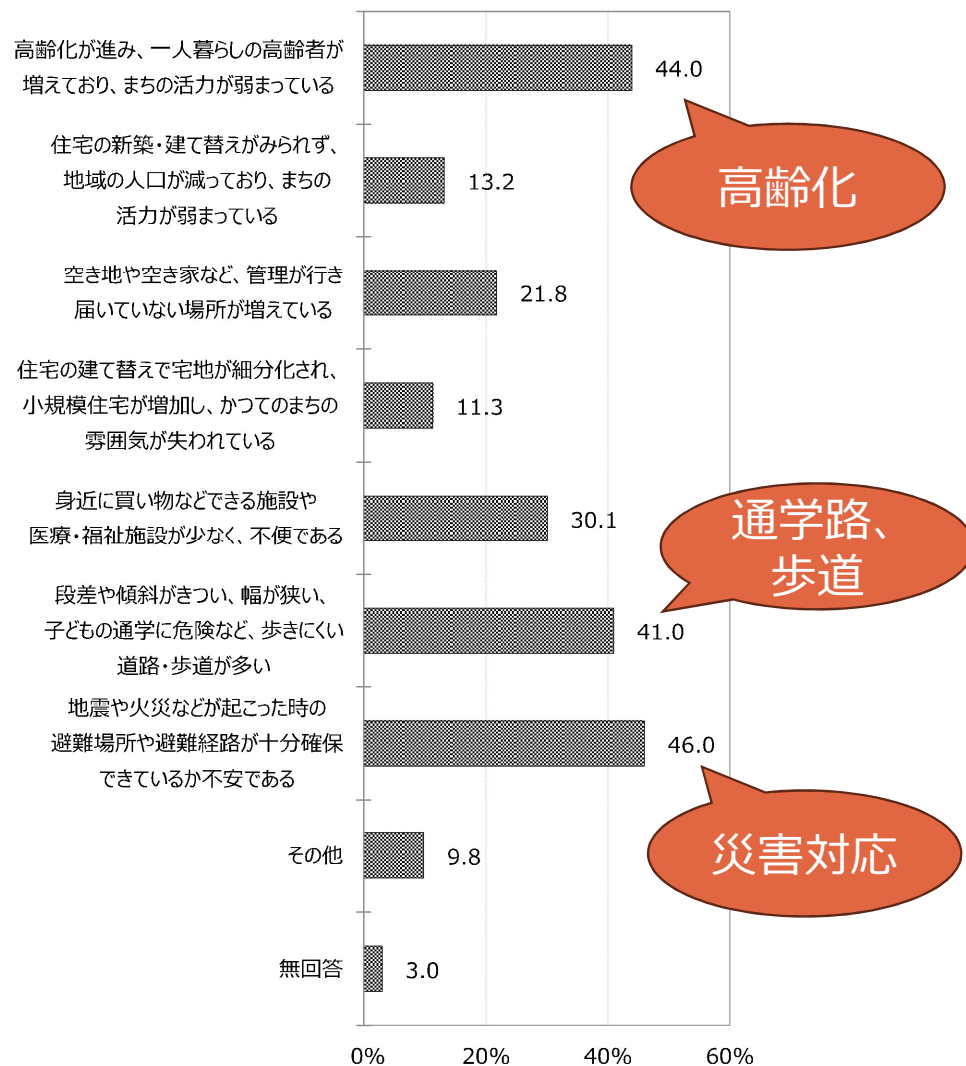
②藤井寺市の魅力と感ずるところ



<前回調査との比較>

- ◆ 基本的な傾向は変わらない。
- ◆ 駅周辺の都市機能や大阪都心へのアクセスの良さといった「利便性」が増加している。
- ◆ 逆に、社寺や古墳など厚みのある歴史については、減少している。世界遺産登録で一息ついた可能性が伺われる。

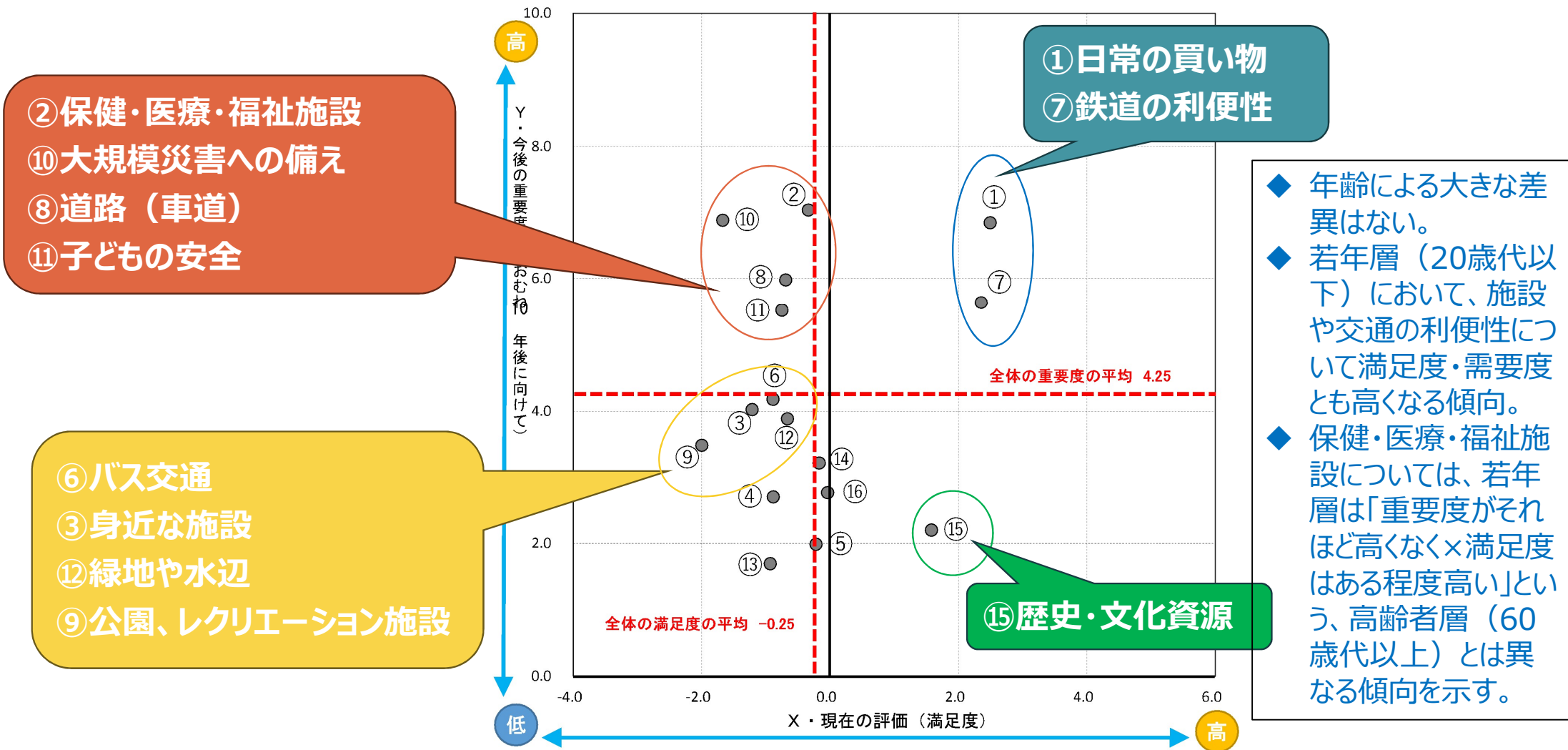
③身近な住環境で生じている問題



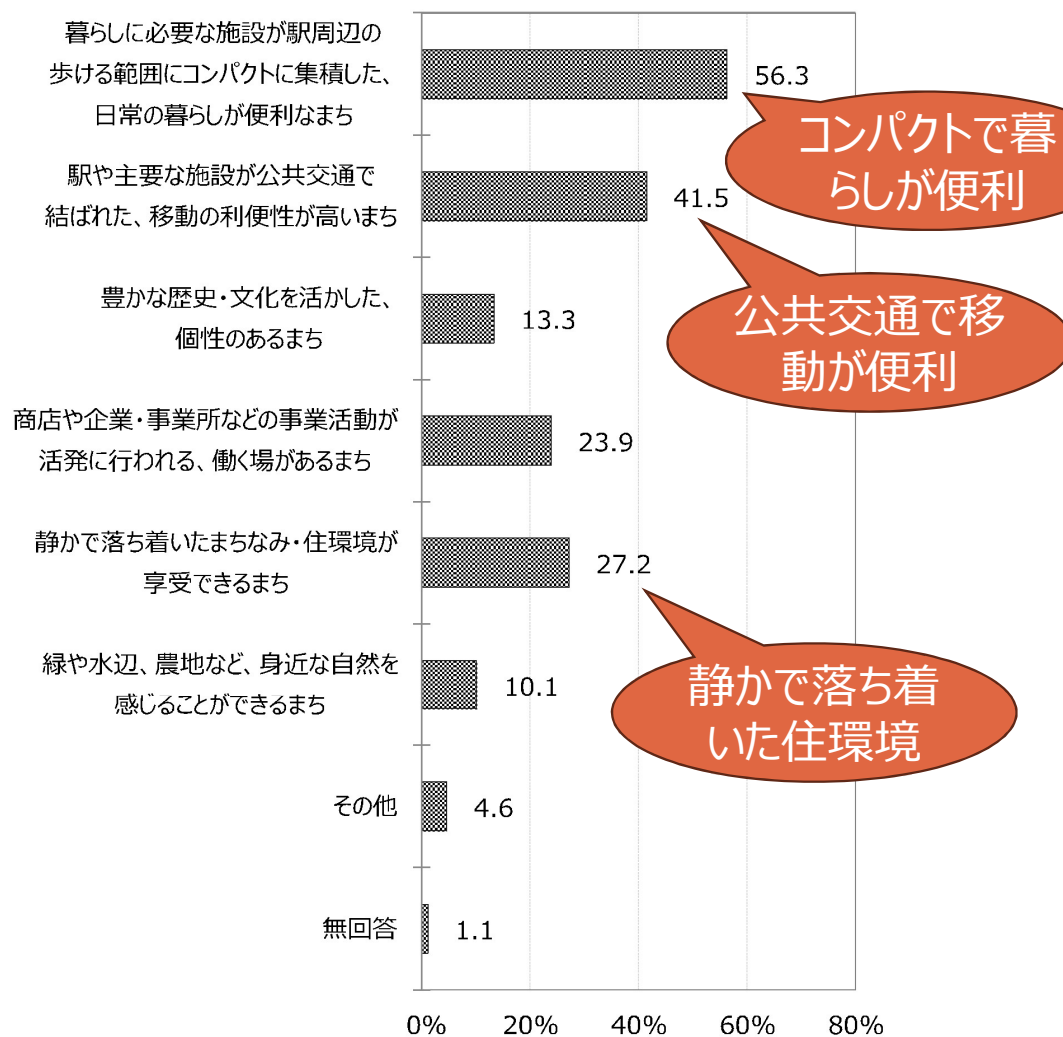
<前回調査との比較>

- ◆ 基本的な傾向は変わらない。
- ◆ 問題点を指摘する意見は増えている。
- ◆ 特に、歩道や生活道路、災害時の避難場所や避難経路、高齢化に伴う活力低下、については、問題視する意見が増加している。

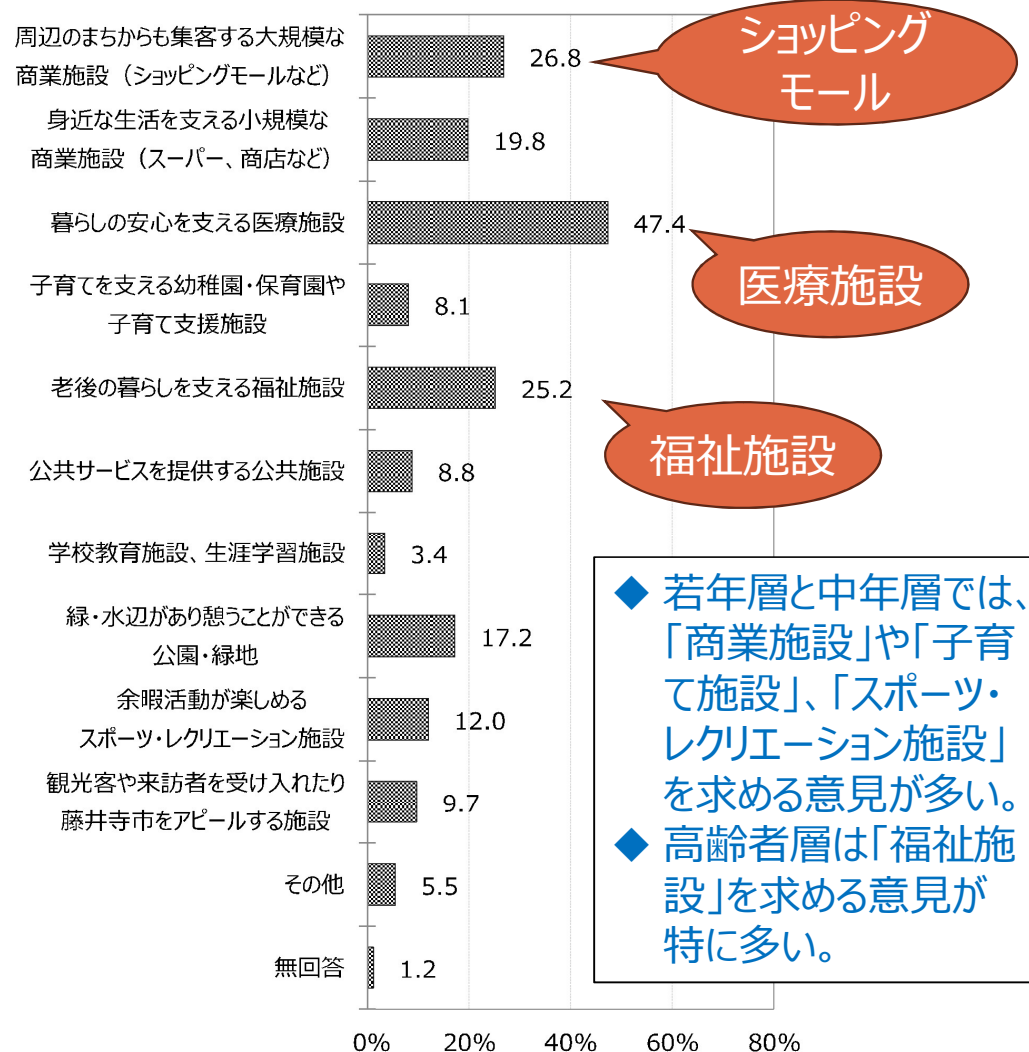
④ 住みやすさに関わる要素の満足度と重要度



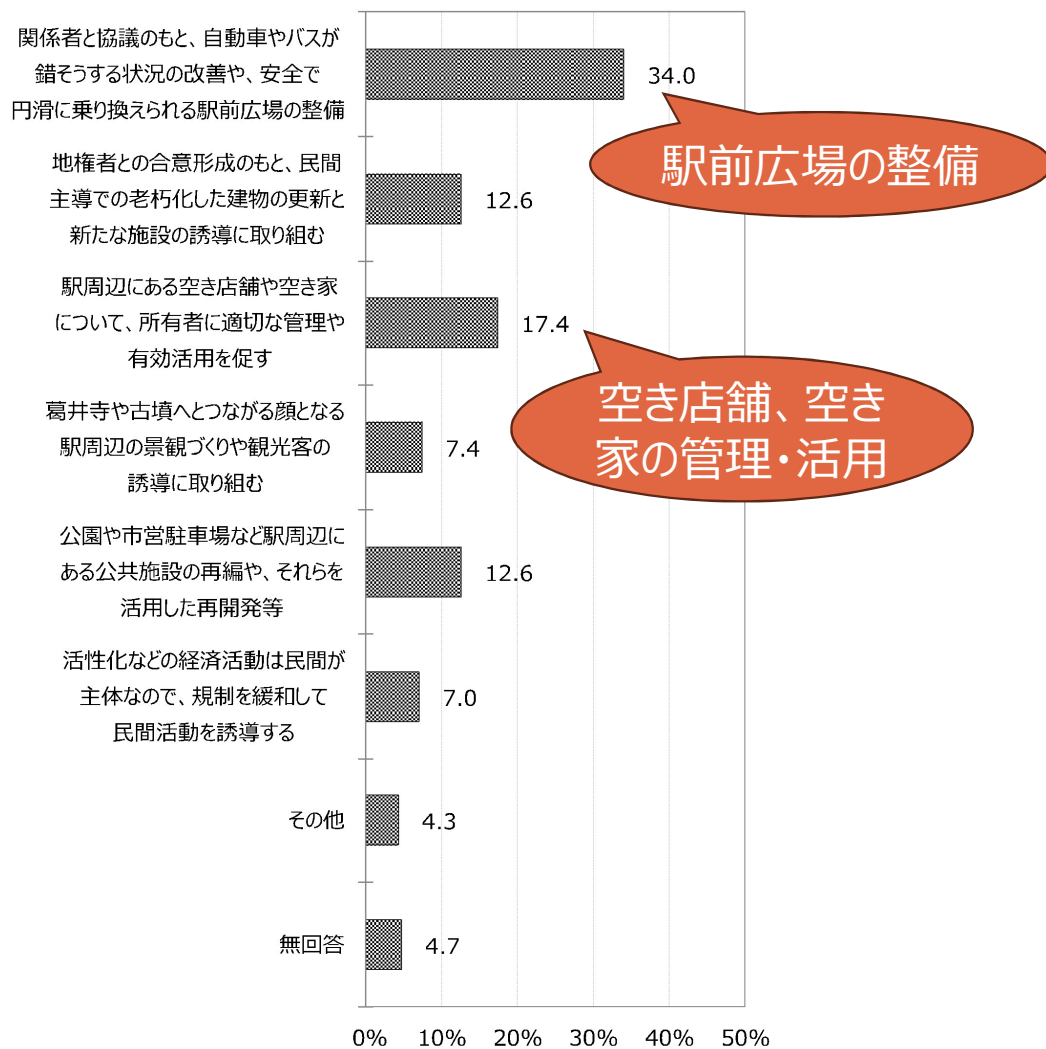
⑤市全体の将来の姿（概ね10年後）



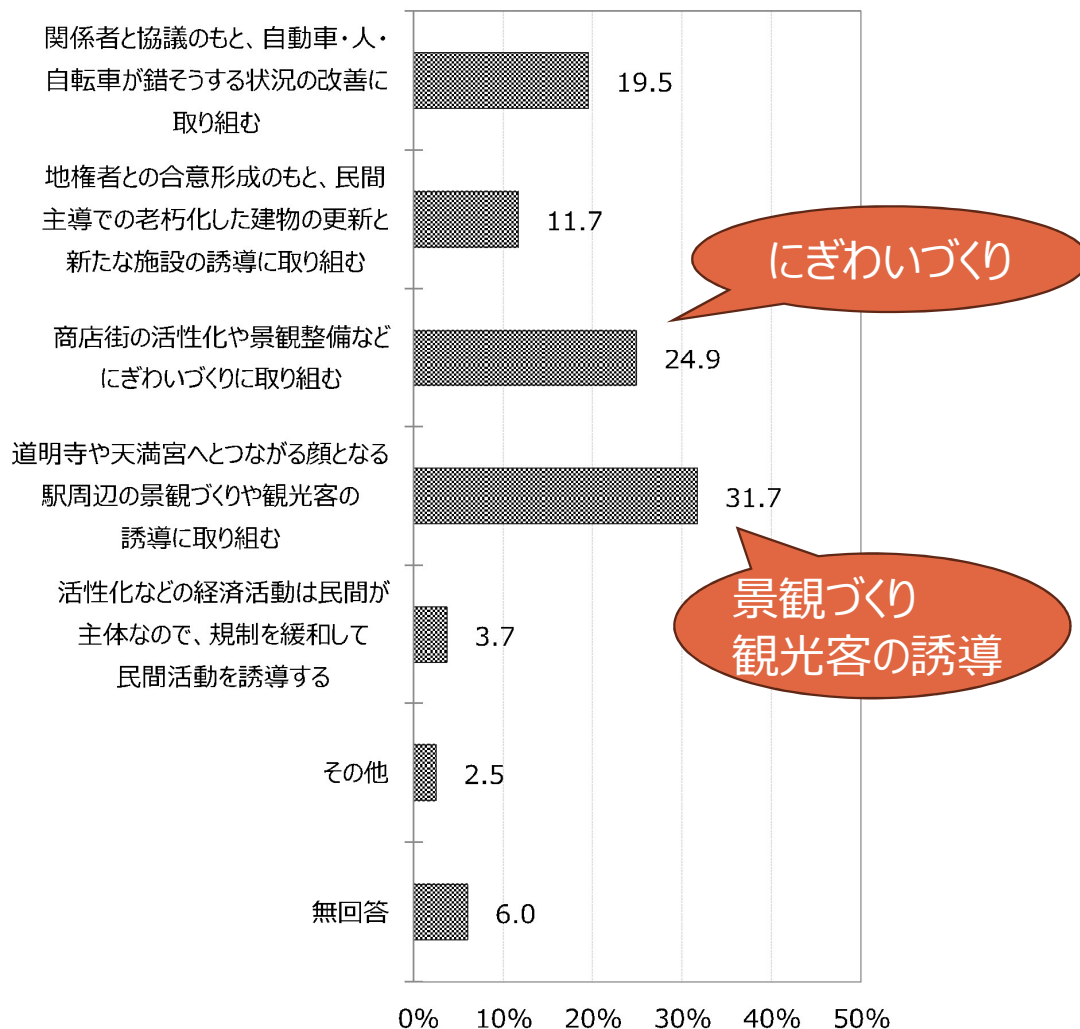
⑥今後特に機能の充実が望まれる施設



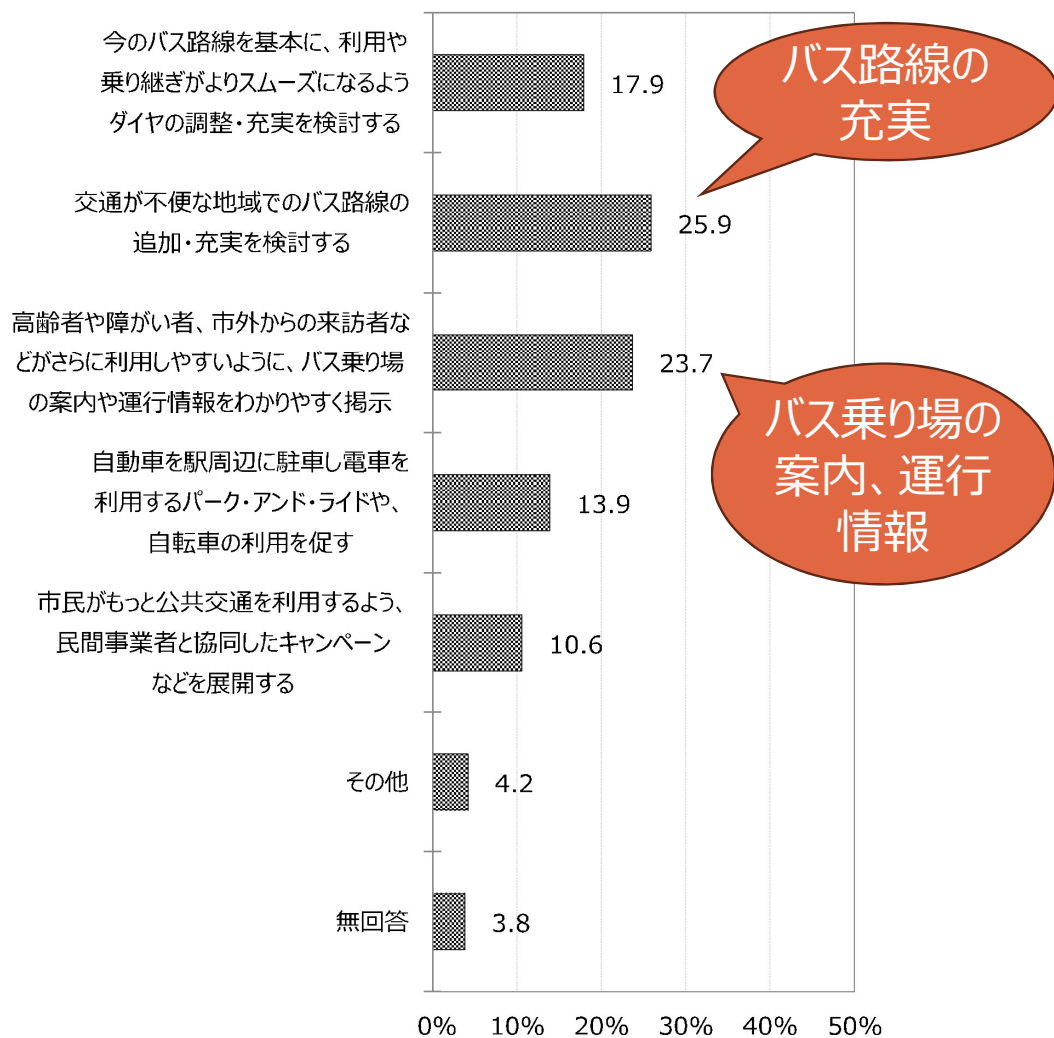
⑦ 藤井寺駅周辺のまちづくり



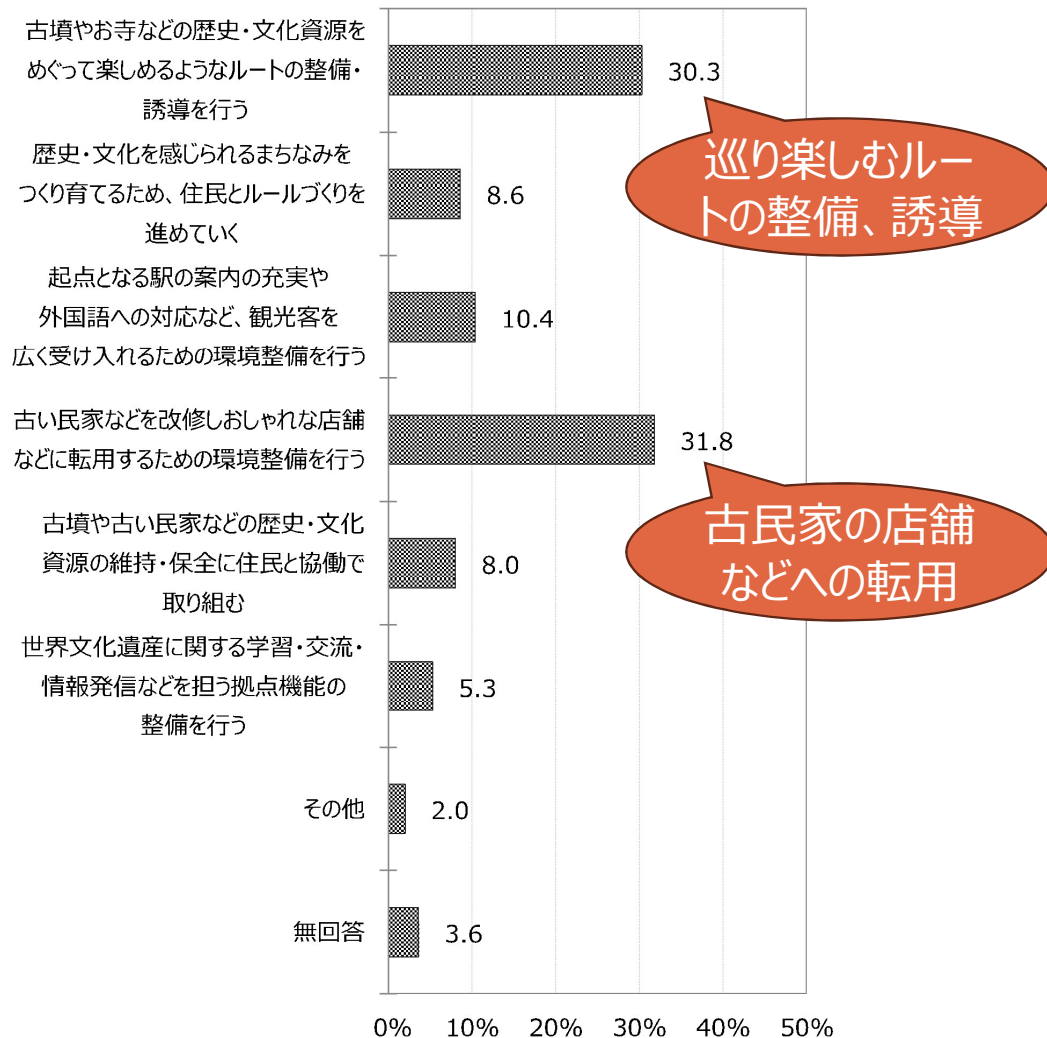
⑧ 道明寺駅周辺のまちづくり



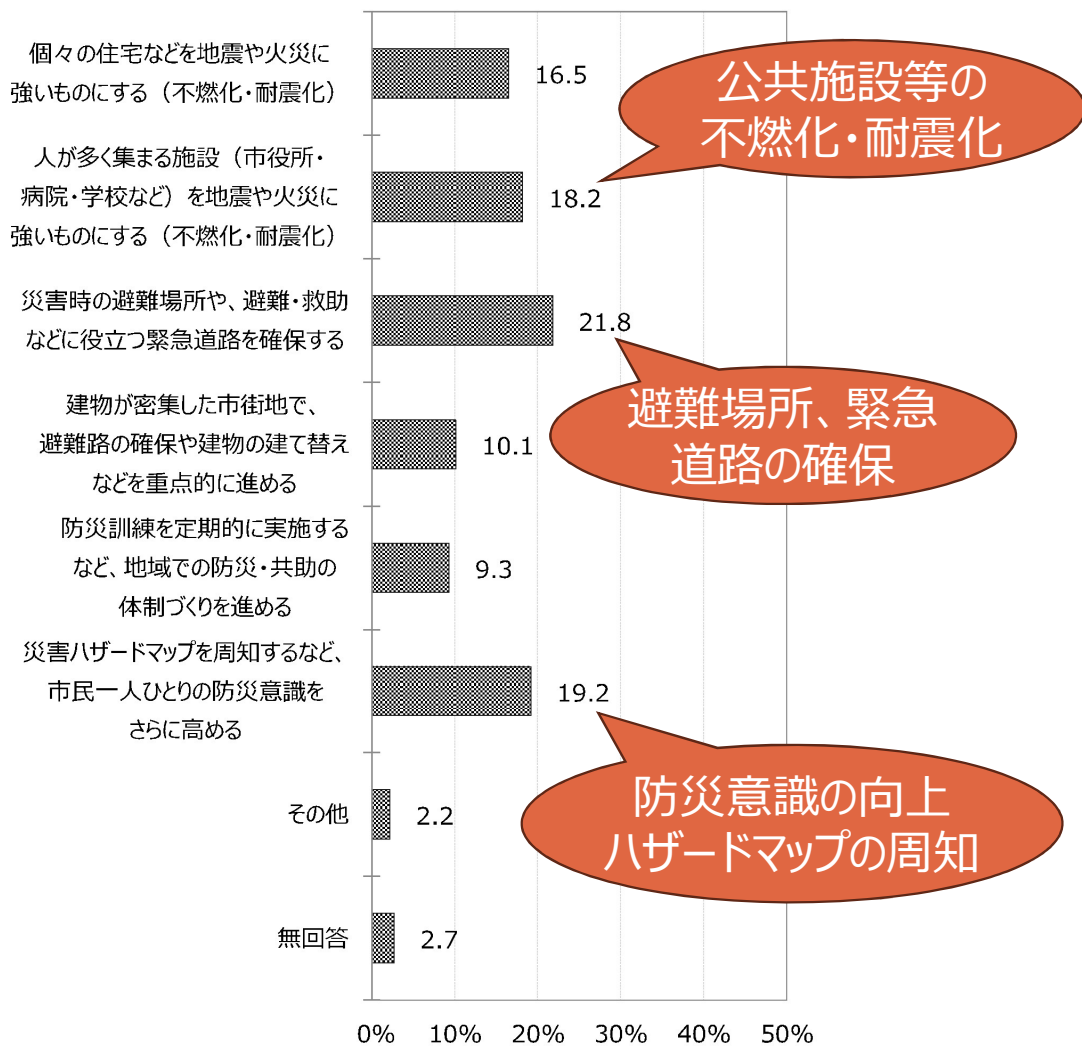
⑨公共交通を中心としたまちづくり



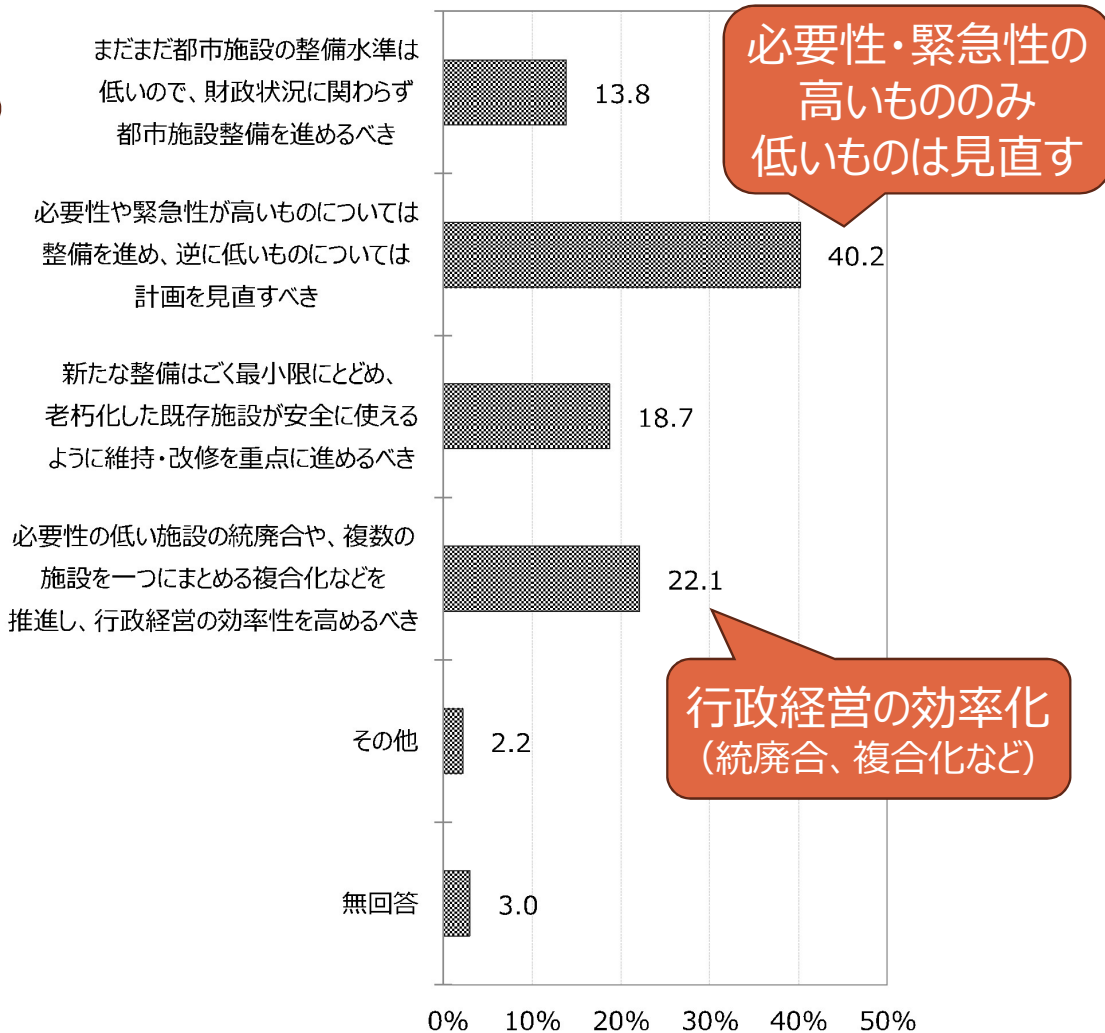
⑩歴史・文化資源を活かしたまちづくり



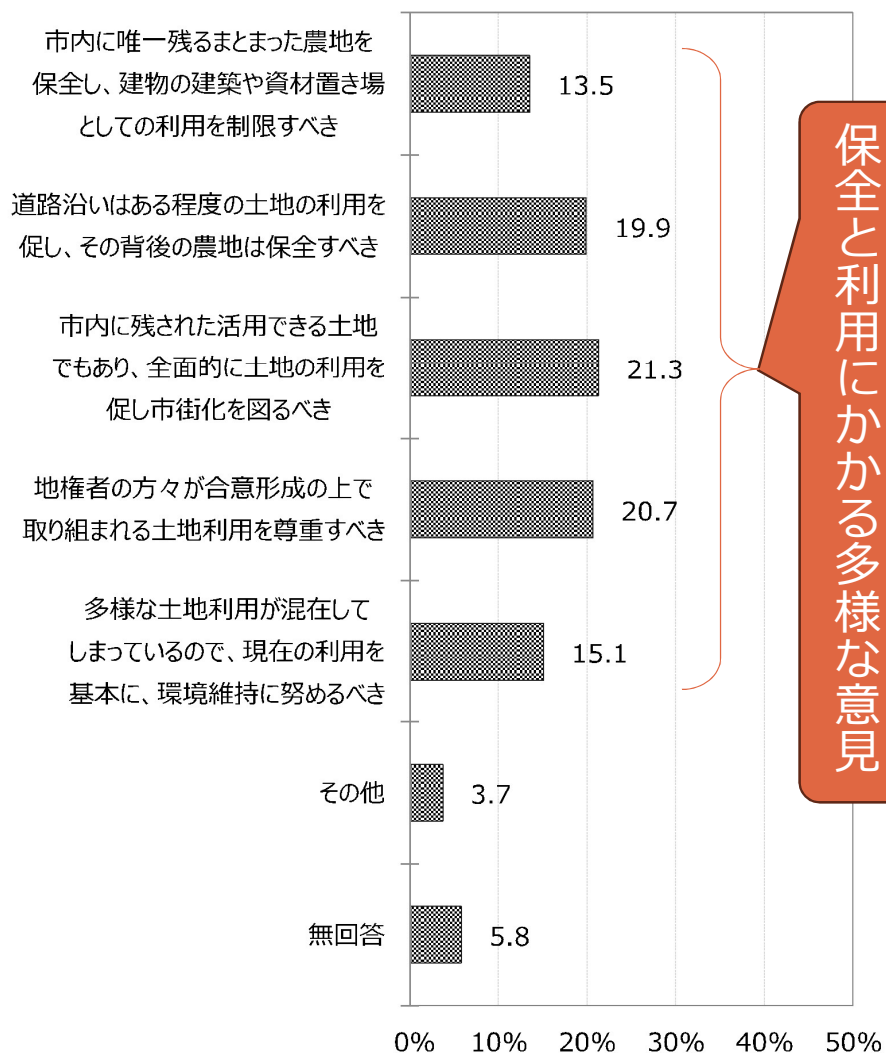
⑪災害に強いまちづくり



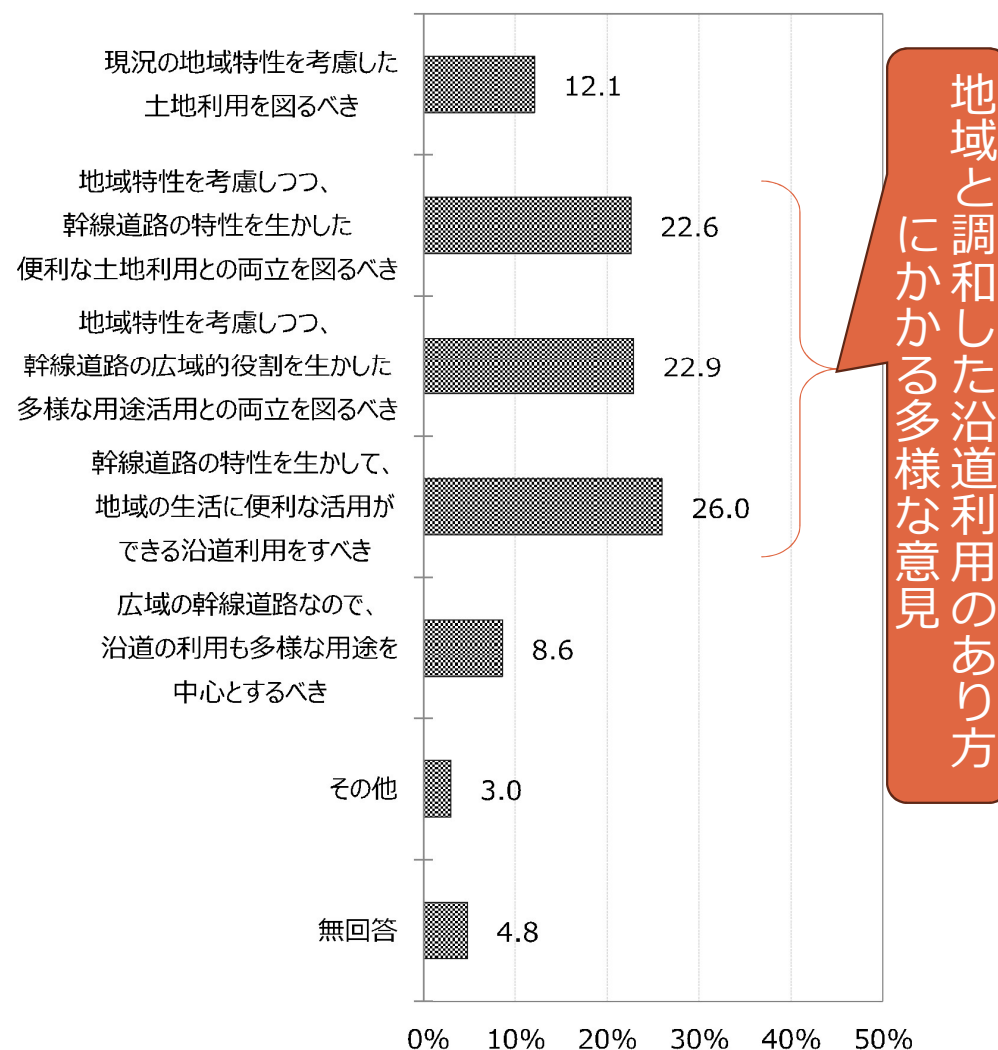
⑫都市施設のあり方



⑬市街化調整区域である川北地区のあり方



⑭八尾富田林線沿道の土地利用のあり方



⑮自由意見（例示）

<良い点の指摘やプラス評価の意見>

「古墳以外」の藤井寺市に来たらこれ！という場所が欲しい

治安が良いので安心して過ごせている
基本的に住みやすい

基本的に住みやすい
病院も買い物も大抵市内で済む

コンパクトで市街地にも行きやすく、治安も悪くなく、緑も多い

藤井寺市は福祉（子ども、障害者）に強い市だと思う

世界に誇れる文化財がある、市民の地元愛を育める施策を

河川敷や古墳周辺でキャンプやBBQができるレジャー施設があれば

立地の良さ、自然環境を十分に活かしている
無理に変えなくてよい

<問題点の指摘やマイナス評価の意見>

高齢化が進む中で、病院へのアクセスが悪いように思う

日用品などショッピングする場所が少ないことも過疎化が進む要因では

子どもの遊び場（ボール遊び、声を出せるなど）が少ない

幹線道路が渋滞、生活道路は狭くて凸凹、通学路が危険

駅前に空家が多いのに、若い人が住める物件が少なく、住み続けにくい

下水道の整備を早急に、整備後の接続も

緑をもっと増やしてほしい

公共施設の老朽化が気になる

市営バスが不便、ベビーカーが載せられない

地震等災害に対する備えを

※空間面に関するもので、比較的若い層（20-30歳代）の意見を中心に、一部を要約して掲載。